

2022年度 ひまわり園 児童発達支援事業自己評価結果表

(2022年12月1日現在)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	現在の取組内容・今後の改善目標等
環境・ 体制整備	1	利用定員が特設訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			旧保育園の設備・敷地でスペースははかり広く、個別対応するのに良い環境となっています。
	2	職員の配置数お適切であるか	○			法令で定められた基準を満たしており、有資格者が配置されています。
	3	事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			バリアフリー化されたトイレがあります。安全に活動できるよう配慮していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			個々のお子さんの状況を日々の職員ミーティングで振り返り、定期的な職員会議等で課題検討等により随時意見交換を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			日々の情報交換やアンケートの実施により、サービスの質の向上に努めています。
	6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			昨年度のアンケート結果をホームページで公表しています。2022年度分は、今後、公表いたします。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者(業者)の外部評価は行いませんでしたが、第三者委員さん2名が訪問し、見学されました。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修を受ける機会がたくさんありありがたいと職員からの意見がありました。法人内研修を始め、福祉職員生涯研修等の外部研修、園内研修を定期的実施しています。
	9	子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○			相談支援専門員と連携を図り、情報共有や意見交換ができています。多職種で課題を多角的に分析した上で、個別支援計画を作成し、モニタリングを行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		関係機関や相談支援専門員からの情報、ご家族との面談から基本情報やアセスメントシートを作成しています。特性をとりえ、より適切で深いアセスメントになるよう努めています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			チームで活動に関してミーティングを行い、立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			発達に寄り添った活動内容を随時検討しています。
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて個別支援計画を作成しているか	○			状況に応じて活動場所を分ける工夫をしています。個別活動と集団活動を適宜組み合わせています。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼で打ち合わせの時間を設け、前回の様子の申し送りやその日の支援のポイント、役割分担の確認や情報共有をしています。
	15	支援終了後には、職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りを行い、情報を共有しています。
関係機関や保護者との連携	16	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々のミーティングの際に今回の改善点を確認あつています。個別支援記録を記入し、支援の検証や改善に活用しています。
	17	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			ST、PT等、関係機関等からも助言をいただき、それを踏まえて作成しています。
	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	19	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			小諸市の保健師、栄養士、歯科衛生士が定期来園し、指導を行っています。
	20	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		通園希望に応じ、受け入れ体制を整えています。
	21	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			連絡ノートで、ひまわり園、ご家族、幼稚園、保育園、時に医療機関で情報共有し、相互理解を図っています。
	22	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要に応じ、会議を持つ等、情報共有に努めています。
23	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			外部機関が主催する研修等に参加するよう努めています。他の事業所を利用しているお子さんは、連絡帳や会議を通して連携を図っています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	現在の取組内容・今後の改善目標等
関係機関や保護者との連携	24	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		市内保育園との交流は、コロナ禍で見合わせました。感染症の流行等を鑑みながら、機会を作り、交流していきたいと思っております。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			ひまわりっこでは、ご家族とお子さんの状況や課題について話し、共通理解を得るようにしています。ひまわり教室では、連絡帳も使い、共通理解を得ています。
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○			主任相談支援専門員によるペアレントトレーニング研修会の機会を設けています。
保護者への説明責任等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約の際にご説明しています。必要事項を記載し、園内に掲示してあります。
	28	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			内容に応じて ST、PT の助言を受けながら、その都度対応しています。
	29	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			今年度のひまわりの会は、学習会形式にて行いました。日々の活動の中で、情報交換ができるように支援しています。
	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付担当者や苦情解決責任者等の体制を整備し、迅速かつ適切に対応できるようにしています。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月のおたより、会報一葉ニュースを発行しています。
	32	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			利用契約の際、個人情報の取扱いについて書面で説明しています。
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			外国籍の保護者の方には、フリガナ付きの計画書をお渡ししています。
34	事業所の行事に地域住民を招待する等地域が開かれた事業運営を図っているか			○	地域住民を招待する行事は、コロナ禍なので、見合わせました。特性のあるお子さんの支援について地域の保育所等へ情報提供を行っています。	
非常時等の対応	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員に周知しているか	○			各マニュアルを整備し、その都度確認しています。感染症に関する個別支援計画を作成しています。
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回避難訓練を実施しています。防災週間を設け、防災の絵本を読みました。
	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			当該研修等に参加し、職員への周知を行っています。
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、個別支援計画に記載しているか		○		身体拘束は行っていません。
	39	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		調査票で食物アレルギーの有無について確認しています。
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの記録を残し、職員会議で情報を共有し、対策を検討します。法人の安全対策会議でも検討しています。